

## 新米総合防犯設備士誕生！

株式会社 クマヒラ

國松 栄



### 防犯設備士と総合防犯設備士との出会い

私は10年前より防犯カメラ導入は行っておりましたが、本格的なセキュリティシステム導入を行ったのは2004年頃。工場のセキュリティシステムを行ったのが初めてでしたがその年に防犯設備士を取得しました。そして、今年3回目にしてやっと総合防犯設備士に合格しました。2次試験の時のエピソードとして「総合防犯設備士を目指したきっかけは？」と質問され「防犯設備の講習会は眠くならなかったので私にはこの仕事があると思ったからです。」と答えたら、試験官の方々に笑われました。冷静に考えますと、ただ防犯設備協会の先生方の教え方が上手かったから…？とも思えます。

今回「総合防犯士会」入会させて頂き、3月に開催された懇談会で、たくさんの先輩方と貴重なお話をさせて頂きました。参加された方は、講師をされていたり会社経営者だったり、経験と実績を兼ね備えた方が多く、役職なしのサラリーマンは私くらいだったので、まだまだ新米だと思い知らされたと同時に、どんどん興味も湧いてきました。

### 情報漏えい防止はとても難しい…

私は株式会社クマヒラにてシステムエンジニアをしており、民間企業・官公庁関係等のお客様に対しセキュリティシステムの提案・導入の仕事をしております。

数年前と現在とではフィジカルセキュリティの考え方も変わってきており、防犯防御+情報漏えいを対象にしたセキュリティ構築が増えて来ていると思います。防犯防御を主目的に構築するフィジカルセキュリティはシステムを導入すれば、ある程度は設備により運用可能であります。情報漏えい（内部統制）を目的にした場合は、ただシステムを導入しただけでは防ぐ事が出来ず、セキュリティの専門的な知識を持っている者が運用をして行かないと情報漏えいを防ぐ事は難しいと思います。その為にはセキュリティポリシー等規定を定め、定期的に審査および監査を行い、きちんと運用しているかを確認する為、知識ある第三者の目が必要になるのではないかと思います。そのため今後は防犯設備士・総合防犯設備士が必要とされる場面が増えて来ると感じております。また、情報漏えいの観点により運用がしやすいシステムが必要になります。理想としては、入退管理・カメラ・鍵管理等システムを1ソフトにて管理できれば運用も簡単になるとか、運用変更時でもユーザー側で変更が出来て柔軟に対応出来るシステム（変更の時は簡単に出来る）等が、システムを導入する時に重要なキーポイントになるのではないかと考えております。

### 今後の活動目標！！

総合防犯設備士としての活動をまだしていません。まずは、身近な所から活動を広げ、アンテナを高くしていきたいと考えております。まだまだ半人前である為、色々と勉強・経験をしながら、防犯設備士・総合防犯設備士の諸先輩方のようにこの分野で世の中に貢献がしていきたいと思っております。この文章を読んで頂いた先輩方、私が今後活動していくためのご相談をさせて頂く事があるかもしれません。お忙しいとは存じますが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。最後まで読んで頂き有難うございました。



ショールーム案内



セキュリティゲート